

# 教育、福祉、雇用は 将来の社会への投資です



いのちと暮らしを大切に作る県政を  
さらに発展させていきます。

- **なくそう子どもの貧困条例の制定**
  - ・幼児教育と学校給食の無償化
  - ・給付型奨学金の拡充さらに高等教育の無償化
  - ・こども医療費の無償化
- **働く環境の改善**
  - ・正規雇用化と正当な所得への改善
  - ・保育士、介護士、公共交通従事者の待遇改善
- **高齢者、障がい者の福祉の充実**
  - ・保健医療の充実と地域でのつながりの確保
  - ・就業や文化スポーツ活動の推進
- **沖縄らしい経済戦略**
  - ・農業、環境、観光、医療、文化芸能の連携
  - ・スポーツコンベンションの推進

いのちを後回しにしない政治をいま、ここから

支え合い  
共に生きる明日へ

みお



社民党公認 社大党推薦  
沖縄県議会議員  
仲村未央

将来を思い進学や就職を考えているみなさん、毎日の仕事や子育てにがんばっているみなさん、老後の安心した生活や、お子さん、お孫さんの幸せを望んでいるみなさん、政治はいま、私たちの生活に向き合っているでしょうか。

市民のくらし、人権や環境は何より優先されるべきもの。小さな声を置き去りにせず、ひとりひとりが尊重される、いのちを後回しにしない政治をともに作り出していきます。

## 深刻な待機児童問題

質の確保と保育士の待遇改善を



保育所が不足しています。新年度4月からの入所が決まっていない待機児童は認定されただけでも全県で2,591名、沖縄市で296名のほり、途方にくれる保護者の声が聞こえます。

保育所を増やすことはもちろん、その**質の確保と保育士の待遇改善が急務です。**

日本は、先進34か国中で「**教育機関への公的支出の割合**」が**6年連続最下位**。就学前教育への公的支出は各国レベルの最低水準にとどまり、大学の授業料も高く、家計の負担を圧迫していることが国際機関から指摘されています。子どもたちに起こる教育格差や奨学金返済を抱える若者たちの苦悩が社会問題として浮かび上がっています。「**子どもの貧困**」の本質は、**政治の貧困**とも言えます。



翁長知事とともに、子どもの貧困についての実態調査、対策室の設置、「給付型奨学金の創設」にとりくんできました。

## 私たちの税金は、暮らしにつながっていますか？

軍事優先の経済政策は、からだの弱い高齢者や障がい者、子どもたちを遠ざけていきます。いのちの尊厳にまっすぐ向き合う「人への投資」こそ、不安を希望に変える選択です。

### ● 辺野古新基地は許されません！

新基地建設の予算は5000億円以上と見込まれています。環境の破壊、在沖海兵隊「抑止力」の破たんは明らかであり、圧倒的民意を否定して巨額の税金を注ぎ込むべきではありません。

### ● オスプレイ導入に3700億円、思いやり予算は5年で1兆円にも。

私たちの税金から在日アメリカ軍に対して支払われる「思いやり予算」は年間1880億円、5年で1兆円近くにも上ります。オスプレイをアメリカから購入するための予算は17機で3700億円。1機あたりのコストは約220億円にもなるのです。

### ● 子育て、教育こそ最優先！

県全体の小中学生の給食費は年間66億円。中学卒業までの子ども医療費は30億円。また、県内大学生の学費1年分はおよそ200億円。これらをすべて無償化したとしても300億円にとどまります。軍事費にける税金がいかにケタ違いかわかります。

